

鶴舞総合法律事務所 開所

『30周年のつどい』のご案内

鶴舞総合法律事務所はみなさまに支えていただき今年4月に開所30周年を迎えます。この度、感謝の意を込めて、30周年のつどいを企画しました。お食事をしながら昼のひと時をご一緒に楽しみませんか。倶楽部会員以外の方も大歓迎です。たくさんのご参加をお待ちしております。

日時 2018年4月8日(日) 11:30~14:00 (受付開始 11:00)
会場 和菜 SALOON ガス燈 名古屋市千種区今池 1-8-8 今池ガスビル 8F
地下鉄「今池駅」 10番出入口直結 ☎(052)732-2944
会費 3,000円 (お食事はフレンチのコース・アルコールのご用意もあります)

参加申し込みは、鶴舞総合法律事務所にお電話いただくか、または同封のバスツアーの案内にある申込書へご記入の上 FAX をお願いいたします。(締切: 3/20(火))
☎ 052(852)1220 (平日 9:00~18:00) FAX 052(852)1227

●オープニング

群読「見よぼくら一銭五厘の旗」=花森安治作

いのこ福代さん(元劇団うりんこ俳優、倶楽部会員)と有志による朗読劇

●漫談



安井一大 弁護士(鶴舞総合法律事務所)

●その他企画

法律倶楽部会員さんによる手作りコーナーなども予定しています。どうぞ、お楽しみに。



「見よぼくら一銭五厘の旗」

雑誌『暮しの手帖』の基礎を築いた初代編集長・花森安治氏をご存知でしょうか。作品「見よぼくら一銭五厘の旗」は、昭和45年(1970年)10月「暮しの手帖」第2世紀8号に掲載されました。花森安治氏が戦後の日本の暮らしを変えた気概が溢れ出る作品です。37年を経ても今日の日本人を叱咤激励する花森氏の声が聞こえてきます。ぜひこの機会にその声に耳を傾けてください。

軍隊というところは ものごとをおそろしく はっきりさせるところだ
星一つの二等兵のころ 教育掛かりの軍曹が 突如として どなった
貴様らの代わりは 一銭五厘で来る 軍馬は そうはいかんぞ
聞いたとたん あっ氣にとられた しばらくして おらむらと腹が立った
そのころ 葉書は一銭五厘だった(中略)
ぼくらは ぼくらの旗を立てる ぼくらの旗は 借りてきた旗ではない
ぼくらの旗は こじき旗だ ぼろ布はぎれをつなぎ合わせた 暮らしの旗だ(中略)
世界ではじめての ぼくら庶民の旗だ
ぼくら 今度は後へひかない

「見よぼくら一銭五厘の旗」から

● 和菜 SALOON ガス燈

名古屋市千種区今池 1-8-8 今池ガスビル 8F

☎ (052) 732-2944

地下鉄「今池駅」 10 番出入口直結

